

| 地域MC協議会 | 構成消防本部 | 構成市町 | 1. 地域包括ケアシステムやACPIに関する議論の場、消防機関が参画していますか。 |              | 2. 地域MC協議会に、地域包括ケアシステム関係者が参画していますか。                  |     | 3. 消防機関や地域包括ケアシステム関係者などが参画する多職種連携会議で、高齢者の救急搬送に係る課題の協議・情報共有を行っていますか。 |             | 4. 多職種連携会議を開催するにあたり、地域で課題があればご記入ください。   |  | 5. 関係機関が連携し情報共有を図るための取組や、高齢者の救急搬送に係る課題への取組状況をご記入ください。  |  | 6. その他、高齢者の救急搬送に係る課題についてご意見等ございましたら、以下にご記入ください。(自由記述) |  |
|---------|--------|------|---|--------------|--|-----|---|-------------|---|--|--|--|---|--|
| 桑員      | 桑名市    | 桑名市  | ①参画している                                   |              | ①参画している  |     | ①行っている  |             | 高齢者や要介護者の救急搬送時、関係者に連絡が取れない場合において、非入院時の帰宅手段の確保が出来ずに苦慮している。(特に夜間。)                                    |  | 在宅医療や在宅介護に関わる職種の方々とWEB研修を実施。救急の現状説明を行い、グループワークでは他職種からの質問や課題を話し合った。また独居高齢者の救急頻回利用者について、多職種で対応するため、市役所の福祉関係や包括医療センター等と個別事業を対象に包括ケア会議を実施する。 |  |   |  |
|         |        | 木曾岬町 | ①参画している                                   |              | ①参画している  |     |   |             |   |  |  |  |   |  |
|         |        | いなべ市 | ①参画している                                   |              | ①参画している  |     |   |             |   |  |  |  |   |  |
|         |        | 東員町  | ①参画している                                   |              | ①参画している  |     |   |             |   |  |  |  |   |  |
| 四日市     | 四日市市   | 四日市市 | ③未定                                       |              | ③未定  |     | ①行っている  |             |   |  | 四日市地域救急医療対策協議会、四日市地域メディカルコントロール協議会で高齢者の救急搬送に係る課題等を話し合う場が設けられている。   | 高齢者搬送における諸課題を改善するため、情報提供方法を会議の場で説明し、消防機関及び医療機関が必要としている内容を共有する必要がある。また、医療機関受診後の帰宅について対応に苦慮することがある。                  |   |  |
|         |        | 菟野町  | 菟野町                                       | ③未定          |  | ③未定 |   |             |   |  |  |  |   |  |
|         |        | 朝日町  | 朝日町                                       | ③未定          |  | ③未定 |   |             |   |  |  |  |   |  |
|         |        | 川越町  | 川越町                                       | ③未定          |  | ③未定 |   |             |   |  |  |  |   |  |
| 鈴鹿・亀山   | 鈴鹿市    | 鈴鹿市  | ①参画している                                   |              | ③未定  |     | ①行っている  | ACP対応要領について |   | 救急在宅介護連携調整会議により関係機関と連携を図っている<br>高齢者施設等における救急ハンドブックを策定し、情報提供シートを使用した救急搬送についての周知を行っている<br>今年度は高齢者施設等への説明会を実施 | ACP・DNARIについての取り組みは地域ごとにばらつきがないように検討が必要であると考えられる。  |  |   |  |
|         |        | 亀山市  | 亀山市                                       | ④その他         | 市役所等で地域包括ケアシステムやACPIに関する会議などがあれば消防にも案内をして下さいと依頼している。 | ③未定 |   |             |   |  |  |  |   |  |
| 津・久居    | 津市     | 津市   | ③未定                                       |              | ③未定  |     | ③未定   |             |   |  |  |  |   |  |
| 伊賀      | 伊賀市    | 伊賀市  | ①参画している                                   | 事務局として参画している | ③未定  |     | ①行っている  |             | ・高齢者救急搬送の増加<br>・救急搬送に必要な情報の不足(独居老人等の情報不足による現場滞在時間の延伸等)<br>・ACP、DNARの共通認識<br>・施設、主治医、医療機関、救急隊員との連携体制 |  | ・救急現場での情報収集ツールである救急医療情報キットの普及啓発や記載内容の更新<br>・市広報誌やケーブルテレビなどを通して、救急車の適正利用や予防救急についての啓蒙<br>・高齢者福祉施設等における救急要請ガイドブックの運用に向けた検討                  | 高齢者の救急搬送に係る課題については、それぞれの地域も同じような課題を抱えており、特にDNARIについては地域での課題解決は困難と考えます。先進地の取り組みなどを参考に、地域の枠を超え県全体で協議・検討する必要があると考えます。 |   |  |
|         | 名張市    | 名張市  | ①参画している                                   | 参画している       | ③未定  |     |   |             |   |  |  |  |   |  |

|         |      |              |            |  |         |  |        |                               |  |  |   |
|---------|------|--------------|------------|--|---------|--|--------|-------------------------------|--|--|---|
| 松阪      | 松阪広域 | 松阪市          | ①参画している    |  | ①参画している |  | ①行っている | 令和4年度中は、合計2回の地域包括ケア推進会議を開催した。 |  | 高齢者施設における救急対応マニュアルの運用が令和3年に開始し、それに伴う救急医療情報提供シートを、救急現場で活用している。  | 独居高齢者は、一人で不安だからという理由で救急要請をされる場合が少なからず見られる。高齢者支援課のみならず、地域にもご協力をいただいて、支援をしていく体制を確立する必要があると考える。  |
|         |      | 多気町          | ①参画している    |  | ③未定     |  |        |                               |  |  |   |
|         |      | 明和町          | ①参画している    |  | ③未定     |  |        |                               |  |  |   |
|         | 紀勢広域 | 大台町          | ①参画している    |  | ③未定     |  |        |                               |  |  |   |
|         |      | 大紀町          | ③未定        |  | ③未定     |  |        |                               |  |  |   |
|         |      | 南伊勢町(旧南島町区域) | ③未定        |  | ③未定     |  |        |                               |  |  |   |
| 三地域     | 伊勢市  | 伊勢市          | ③未定        |  | ③未定     |  | ①行っている |                               |  | <p>① 平成23年10月から救急搬送時に救急医療情報キットを活用している。</p> <p>② 施設から要請があった場合は、救急隊が施設職員に任意で看護・介護サマリーの提示を求め、救急搬送に活用している。</p> |   |
|         |      | 玉城町          | ③未定        |  | ③未定     |  |        |                               |  |  |   |
|         |      | 度会町          | ③未定        |  | ③未定     |  |        |                               |  |  |   |
|         | 志摩市  | 南伊勢町(旧南勢町区域) | ③未定        |  | ③未定     |  |        |                               |  |  |   |
|         |      | 志摩市          | ③未定        |  | ③未定     |  |        |                               |  |  |   |
|         | 鳥羽市  | 鳥羽市          | ②参画する予定である |  | ③未定     |  |        |                               |  |  |   |
| 東紀州尾鷲地区 | 三重紀北 | 尾鷲市          | ③未定        |  | ③未定     |  | ③未定    |                               | 特になし   | 特になし   | <p>・独居で家族が近くにいない場合も多く、受診する交通手段がなく救急車を要請する場合がある。</p> <p>・高齢者同士の世帯や高齢者の一人暮らしの場合は、日常の診療情報や服薬情報を得ることが困難な場合が多い。また家族への連絡が必要な場合に、連絡先が分からず苦慮することがある。</p> <p>・救急車利用の8割を高齢者が占めており、その4割近くが軽傷となっていることから、救急車の適正利用について啓発を行う必要がある。</p> |
|         |      | 紀北町          | ③未定        |  | ③未定     |  |        |                               |  |  |   |
|         | 熊野市  | 熊野市          | ①参画している    |  | ①参画している |  |        |                               |  |  |   |
| 紀南      | 熊野市  | 御浜町          | ①参画している    |  | ①参画している |  | ①行っている |                               | 保健所管轄地域別の年齢調整自殺死亡率の推移をみると、管内は18.3と高く三重県で2番目に高いことから更なる対策が必要です。また、自殺企図者や未遂者へのサポートの見直しについても検討する必要があります。 | 情報共有について、関係機関と顔の見える関係の構築に努めている。課題の取り組みについては、福祉・医療等の関係機関を交えて会議を開き情報共有や検討を行った。                               | 救急の頻回要請者や認知症傷病者、DNARへの対応で傷病者情報や主治医の確認などに苦慮することがある。  |
|         |      | 紀宝町          | ①参画している    |  | ①参画している |  |        |                               |  |  |   |
|         |      | 熊野市          | ①参画している    |  | ①参画している |  |        |                               |  |  |   |

各地域での取組状況調査(令和5年3月末見込み)【各市町地域包括ケア担当課】

| 地域MC協議会 | 構成消防本部 | 構成市町 | 1. 地域包括ケアシステムやACPに関する議論の場に、消防機関が参画していますか。 | 2. 地域MC協議会に、地域包括ケアシステム関係者が参画していますか。 | 3. 消防機関や地域包括ケアシステム関係者などが参画する多職種連携会議で、高齢者の救急搬送に係る課題の協議・情報共有を行っていますか。 | 4. 多職種連携会議を開催するにあたり、地域で課題があればご記入ください。 | 5. 関係機関が連携し情報共有を図るための取組や、高齢者の救急搬送に係る課題への取組状況をご記入ください。   | 6. その他、高齢者の救急搬送に係る課題についてご意見等がございましたら、以下にご記入ください。(自由記述)   |  |  |
|---------|--------|------|---|-------------------------------------|---|---------------------------------------|---|--|--|--|
| 桑員      | 桑名市    | 桑名市  | ①参画している                                   | ①参画している                             |   | ①行っている                                | 新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインで研修会を開催しているが、より活発な意見交換と連携を進めるためには、集合形式での研修会を開催したいという声があるものの、現状は開催が難しい。  | 介護事業所等からの救急搬送時に救急隊および救急医療機関へ必要な情報がスムーズに伝わりやすいよう「緊急時の情報連絡票」と「利用の手引き」を作成し普及啓発に取り組んでいる。今年度も引き続き、消防本部と多職種の合同研修会をオンラインで2回開催し、救急搬送時の情報連携や課題について意見交換を行った。 | 看取りの方であっても、急変時に救急車を呼ぶことがあり、ACPやDNARIについても議論を重ねていく必要がある。  |  |
|         |        | 木曾岬町 | ①参画している                                   | ①参画している                             |   | ①行っている                                |   | 桑名市と合同で、消防本部と多職種の合同研修会の実施。「緊急時情報連絡票」の普及啓発  |  |  |
|         |        | いなべ市 | ①参画している                                   | ①参画している                             |   | ①行っている                                |   | 今年度から在宅医療の事業を検討する運営委員会の委員として消防本部の職員を参画を得た。年度内には、関係機関で分科会を立ち上げ、高齢者施設からの救急搬送について対応検討を進める予定。  | すでに、市民向けに救急医療情報に関する取り組みを実施しているが、活用においては事業の周知や情報の更新が課題である。  |  |
|         |        | 東員町  | ①参画している                                   | ①参画している                             |   | ①行っている                                |   | 研修会・会議はオンラインで開催しているため、特に課題はない。   | いなべ地域の救急の現状と課題を共有し、いざという時の救急要請について、消防本部署員と救命救急士、医療介護の専門職と連携の推進と強化を図りました。   | 一人暮らし高齢者や施設入所者などの救急搬送については、連絡先などの情報収集や同乗者の問題などの課題があると思います。また、ACPやDNARについても今後の検討課題と考えます。  |
| 四日市     | 四日市市   | 四日市市 | ③未定                                       | ③未定                                 |   | ①行っている                                | 消防機関と地域包括ケアシステム関係者が、直接、協議・情報共有する機会を持っていない。  | 四日市地域救急医療対策協議会、四日市地域メディカルコントロール協議会で高齢者の救急搬送に係る課題等を話し合う場が設けられている。   | 高齢者搬送における諸課題を改善するため、情報提供方法等を会議の場で説明し、消防機関及び医療機関が必要としている内容を共有する必要がある。また、医療機関受診後の帰宅について対応に苦慮することがある。   |  |
|         |        | 菟野町  | ③未定                                       | ③未定                                 |   | ①行っている                                |   |  |  |  |
|         | 四日市市   | 朝日町  | ③未定                                       | ③未定                                 |   | ④その他                                  | 三師会等が参加する会議にて課題の協議・情報共有は行われるが、消防機関は参加していない。   | 公設消防は四日市市に委託しているため、四日市市や同様の委託をしている川越町との協議が必要となる。   |  | 四日市地域救急医療対策協議会、四日市地域メディカルコントロール協議会で高齢者の救急搬送に係る課題等を話し合う場が設けられている。65歳以上高齢者のみ世帯の希望者に配布している救急医療情報キットについて、地域ケア会議で出た意見を踏まえ、記載内容の修正を行った。(担当ケアマネジャーの連絡先など) |
|         |        | 川越町  | ③未定                                       | ③未定                                 |   | ①行っている                                |   | 四日市地域救急医療対策協議会、四日市地域メディカルコントロール協議会で高齢者の救急搬送に係る課題等を話し合う場が設けられている。   |  |  |
| 鈴鹿・亀山   | 鈴鹿市    | 鈴鹿市  | ①参画している                                   | ③未定                                 |   | ①行っている                                | 地域包括在宅医療ケアシステム運営委員会を年4回開催し、関係機関の情報共有や課題の検討を行っており、会議が定着している。   | 介護施設からの救急搬送時の対応について、救急ハンドブックを作成し、説明会や意見交換会を行い、活動を促している。  | 高齢者に限ったことではないが、身寄りのない方の救急搬送や医療、その後の支援について、現場での対応が課題となることがある。   |  |
|         | 亀山市    | 亀山市  | ④その他                                      | 必要時は参加依頼予定<br>③未定                   |   | ③未定                                   |   | ・希望者には救急医療情報キットを配布し活用しているが、配布後のキットの情報の更新について課題である。<br>・高齢者施設における救急搬送について、協議を進めていく予定。   |  |  |
| 津・久居    | 津市     | 津市   | ③未定                                       | ③未定                                 |   | ①行っている                                | 津市在宅療養支援センター連携体制部会において、サービス付高齢者住宅や有料老人ホームなどの在宅施設において、看取り予定であった対象者にもかわらず、施設の夜間職員体制が不十分であるため、救急搬送要請となる事案が増えているため、在宅施設及び支援診療所への働きかけが必要との意見がある。 | 救急搬送時に介護支援専門員が救急車への同乗を依頼される場合があるため、病院に必要な情報を提供する「救急医療情報用紙」を津市在宅療養支援センターで作成し、可能な事業所から使用を開始しており、今後同センターにおいて、効果的な活用を検証を行っていく予定。                       |  |  |
| 伊賀      | 伊賀市    | 伊賀市  | ①参画している                                   | ③未定                                 |   | ①行っている                                |   | 三重県を通じて行った「保証のしくみづくりに関するアンケート調査」で「身寄りのない方(付添人がいない方)が救急搬送される際の課題」について、県内市町の取組状況を教えていただいた。アンケート結果を活用し、課題解決に向けて取組を検討していく段階です。                         |  |  |
|         |        | 名張市  | 名張市                                       | ①参画している                             | ③未定   |                                       | ②行う予定である  | 在宅医療実務者会議の委員に消防職員も参加し、課題検討を実施。救急搬送に関しては、伊賀市との輪番体制をとっているため、市外搬送を含め名張市だけの検討はしにくい。<br>・独居、身寄りの無い高齢者の搬送時、搬送受け入れが困難な事例もあり課題を感じる。                        | ・単独高齢者、高齢者世帯のみに関して担当ケアマネジャーが搬送時に呼び出されるケースがほとんどである。医療<br>同意はできない状況で、病状説明など病院での拘束時間も長くなり負担が増加している。医療機関での、同患者の対応について検討していく必要を感じている。<br>・地域包括支援センターランチ[まちの保健室]において元気なうちにサロン等通いの場において近隣と顔見知りの関係やまちの保健室への相談が予防的にできるようにポピュレーションアプローチに努めている。 | 身寄りの無い高齢者、単身高齢者世帯に関して、状況を把握している民生委員が搬送同乗、もしくは搬送先病院より呼び出しを含めて連絡が入るが、民生委員への業務的・心理的負担の増加がみられる。消防・病院・行政でいかにして民に負担をかけず、情報共有をしていくかの検討が必要。                |

|             |      |                  |            |   |         |  |          |  |   |   |  |
|-------------|------|------------------|------------|---|---------|--|----------|--|---|---|--|
| 松阪          | 松阪広域 | 松阪市              | ①参画している    |   | ①参画している | 「松阪市地域包括ケア推進会議」委員である医師が地域MC協議会の委員でもある。 | ①行っている   |  | 地域包括ケア推進会議において、高齢者施設からの救急搬送に関する議題を取り上げ、各部門（医療機関、消防、介護事業所）から情報提供していただくなど、それぞれの状況を把握し、理解、連携に繋がるよう努め、令和3年5月に「高齢者施設からの救急搬送マニュアル作成のためのガイドライン」を作成、配布した。また、介護事業所の協議会と共催で、高齢者施設からの救急搬送に関する研修会を開催している。高齢者施設は、職員基準や規模が様々で、介護施設職員、消防隊員等全ての関係者に周知が進んでいない事が現状の課題としてあり、取り組みが始まったばかりである。 | 高齢者施設だけでなく自宅からの搬送においても、患者の病状、既往歴、服薬状況等を把握するために平成30年10月「救急情報キット」、令和2年9月「エンディングノート」を作成、配布しているが、活用について、記載情報の更新などが課題として考えられる。                     |  |
|             |      | 多気町              | ①参画している    |   | ③未定     |  | ①行っている   |  | 松阪地域在宅医療・介護連携拠点が中心となり取り組んでいる。   |   |  |
|             |      | 明和町              | ①参画している    |   | ③未定     |  | ①行っている   |  | 今年度、消防の参画につながらなかったため、次年度予定していく。   | 救急医療情報キットの配布事業を実施し年1回消防署と情報交換を行っている。  | 高齢者の搬送において、同乗者の確保ができない場合、職員が同乗するケースが毎年数回ある。  |
|             | 紀勢広域 | 大台町              | ①参画している    |   | ③未定     |  | ①行っている   |  | 特になし  | 高齢者の見守り会議を年に1回開催し、高齢者の救急搬送件数等についての情報共有や課題についての対応方法等について話し合いを行っている。  |  |
|             |      | 大紀町              | ③未定        |   | ③未定     |  | ②行う予定である |  | ・地域包括支援センター職員が民生委員定例会に出席し顔の見える関係づくりをすすめている<br>・本人の基本情報の把握が難しい。  | ・地域包括支援センター職員が民生委員定例会に出席し顔の見える関係づくりをすすめている<br>・一人暮らし等の緊急通報装置の設置   |  |
|             |      | 南伊勢町<br>(旧南島町区域) | ③未定        |   | ③未定     |  | ②行う予定である |  |   | 救急との連携について、今後関係機関で検討を行う予定。  | ・救急搬送を要請した際に同乗を求められても対応が難しいケースもある。<br>・救急搬送をされても入院とならなかったケースで、身寄りのない方など、帰る方法について。  |
| 三地域         | 伊勢市  | 伊勢市              | ③未定        |   | ③未定     |  | ①行っている   |  | 救急とACPについて、各専門職部会の部長、地域包括等から出された現状を把握。課題等の整理を行い、取組内容の構築を行っている。  | 救急医療情報キット設置は進んでいるが、設置後の情報更新について周知が必要と感じている。   |  |
|             |      | 玉城町              | ③未定        |   | ③未定     |  | ①行っている   |  | 個々のケースについては情報共有はできているが、課題の把握は不十分である。  | 身寄りのない方が救急搬送される場合、同乗を求められるが、基本情報が不明な場合があり困る。  |  |
|             |      | 度会町              | ③未定        |   | ③未定     |  | ①行っている   |  | 近隣市町での広域的な開催でないと難しい   | 関係機関が情報共有するための仕組みは検討を進めている。救急搬送に係る課題も今後検討予定   |  |
|             | 志摩市  | 南伊勢町<br>(旧南勢町区域) | ③未定        |   | ③未定     |  | ②行う予定である |  |   | 救急との連携について、今後関係機関で検討を行う予定。  | ・救急搬送を要請した際に同乗を求められても対応が難しいケースもある。<br>・救急搬送をされても入院とならなかったケースで、身寄りのない方など、帰る方法について。  |
|             |      | 志摩市              | ③未定        |   | ③未定     |  | ③未定      |  |   | 70歳以上の独居高齢者や高齢者のみの世帯等に救急医療情報キットを民生委員等の協力を得ながら配布し、医療の情報などを確認できるようにしている。  |  |
|             | 鳥羽市  | 鳥羽市              | ②参画する予定である |   | ③未定     |  | ③未定      |  | ①見守りシール（認知症高齢者の衣服や持ち物にQRコードを貼付し、身元等の早期特定につながる）事業<br>②一人暮らし高齢者住宅の調査時、家族等関係者の連絡先や病歴、かかりつけ医等の確認を行う。<br>③救急要請常習者情報をデータ蓄積し、出動時の情報確認に活用している。  |   |  |
| 東紀州<br>尾鷲地区 | 三重紀北 | 尾鷲市              | ③未定        |   | ③未定     |  | ①行っている   |  | 専門職が多忙で会議に参画できないことがある。  | 広域連合において「身寄りのない人の入院・入所に関するガイドライン」を作成  |  |
|             |      | 紀北町              | ③未定        |   | ④その他    | わからない                                  | ④その他     | 行っていない                                   |   | 福祉保健部局が高齢者の救急搬送にかかる課題を把握できていない  | 今後課題の共有や、課題解決に向けた方策をともに消防部局とも共有していけたら幸いです。   |
| 紀南          | 熊野市  | 熊野市              | ①参画している    | 令和4年度に在宅医療・介護連携推進会議へ消防職員にも参加していただき、高齢者の救急搬送の課題やACPなどについて議論を行った。 | ①参画している |  | ①行っている   | 令和4年度に在宅医療・介護連携推進会議の中で消防と課題及び情報の共有を行なった。 |   | ・75歳以上の独居高齢者等に救急医療情報キットを配布し、緊急時に医療や家族等の連絡先を把握で切るようにしている。<br>・心配蘇生等に関して本人の意思が反映されるようエンディングノートの作成等に取り組んでいる。                                     | ・身寄りがいない方や家族が遠方で連絡が取れない方への対応<br>・夜間に救急搬送され、入院とならなかった場合の帰りの交通手段の確保  |
|             |      | 御浜町              | ①参画している    | 令和4年度に在宅医療・介護連携推進会議へ消防職員にも参加していただき、高齢者の救急搬送の課題やACPなどについて議論を行った。 | ①参画している |  | ①行っている   | 令和4年度に在宅医療・介護連携推進会議の中で消防と課題及び情報の共有を行なった。 |   | 御浜町救急キットについては、基本的には65歳以上独居世帯であるが、高齢者世帯で持病などがあり、自宅療養に不安があり希望する世帯にも対応している。また、今年度の地域包括ケア会議より、障がい者の意思決定支援の観点から救急キット対象を障がい者（64歳以下）に広げていくことを検討している。 | ・要支援・要介護状態の独居高齢者や高齢世帯が増えている状況下において、ご家族が遠方で家族機能をケアマネジャーなどが代行しなくてはならない状況である。その辺を救急医療機関が理解していただき、入院等の柔軟な対応ができるように、中核病院と地域課題を共有し、包括的な支援体制を整える必要があると思う。 |
|             |      | 紀宝町              | ①参画している    | 令和4年度に在宅医療・介護連携推進会議へ消防職員にも参加していただき、高齢者の救急搬送の課題やACPなどについて議論を行った。 | ①参画している |  | ①行っている   | 令和4年度に在宅医療・介護連携推進会議の中で消防と課題及び情報の共有を行なった。 | 独居や身寄りのない高齢者の緊急時や意思決定支援をどうすすめるか。見守り体制をどう整えていくか。   | ・65歳以上独居世帯や75歳以上夫婦世帯等に救急医療情報キットの登録をすすめ、緊急時、家族等の連絡先を把握できるようにしている。<br>・ACP（人生会議）や意思決定について、住民啓発活動の取り組みをしている。                                     | 救急医療情報キット登録、ACP（人生会議）、エンディングノート（意思決定）等をもっと広く普及していく。  |